

# 歴史を訪ねて：

笠岡市の文化財



こうの  
甲努神社の拝殿  
【市指定重要文化財（建造物）】

甲努の宮山にある甲努神社は、古くは甲努郷（古代には笠岡市北部をこう呼んだ）の郷社であつたと伝えられています。明治以前は艮宮などの名で呼ばれていました。その拝殿は、笠岡市内で最古の拝殿建築と、われています。といつても、備中松山藩主「池田出雲守（長常）」時代の寛永十四年（一六三七）付け棟札と、代官「万年七郎衛門」時代の宝永七年（一七一〇）付け棟札が残つております。については意見が分かれています。今年に入つて屋根瓦の葺き替え工事を行つたところ、屋根の内部で「宝永七年」付けの墨書きが見つかり、現在の拝殿の建築年代が後者であつたことが分かりました。建てた大工は塩田長衛門安次と書かれています。甲努神社には、ほかにも多数の棟札が保存されており、神社の歴史を知るうえで、貴重な資料となっています。

## 展覧会と行事のご案内

### 開館25周年記念

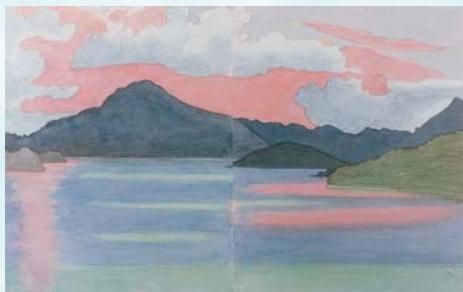
しきごろ  
詩心 竹喬  
—竹喬美術館珠玉  
の数々から

### 開館25周年記念 無料開館期間

10月13日(土)～21日(日)  
入館無料です。お誘いあわせの上ご来館下さい。  
開館時間9時30分～17時  
(ただし入館は16時30分まで)

〒714-0087  
笠岡市六番町1-17  
☎63-3967  
ホームページ  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「美が無心のうちに生れるということ、それを具体的に説明することは出来ないけれども、何となく感じの上で、そうありたい」と希うのである。作品の上に無欲を感じ、純粹素朴な人間性を感じるとしたら、それは上々のものである筈である。・・・スケッチの時に出てくる線を、私は私なりに美くしいと思うのだけれども、それはやはり無心のうちに、自然と取り組んでいる心境の無のうちにあるようである。」  
(竹喬のことば)



## 夕照

小野竹喬 作  
昭和37(1962)年  
27.6×43.1cm

## 竹喬美術館の光彩 57



発行日／平成19年10月1日  
発行／笠岡市役所  
編集／企画政策課  
〒714-8601 笠岡市中央町1-1  
☎69-2110

印刷／株国輝堂 ☎67-5111



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

係から

保育園に子どもを迎えてくれたり、鉄棒を登つて見せててくれたり、のぼり桿を逆上がりをしてくれます。毎日一緒にいても気が付かない子どもの成長ぶりに驚かされます。今月は保育園の運動会があります。毎日一生懸命練習をしているようなので、今から楽しみです。(土)

市的重要無形民俗文化財に指定されている神島の「天神祭」が9月16日に行われました。大漁旗で飾られた船で千歳楽が運ばれる「御渡り」。時折激しく降る雨の中、千歳楽と一緒に陸揚げする様は勇壮で見るものを圧倒します。最後は、すべての千歳楽が勢揃いして境内を練り歩く「総担ぎ」で会場の熱気は最高潮を迎えました。

## 今月の表紙

笠岡市ホームページ：<http://www.city.kasaoka.okayama.jp>  
メールアドレス：kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



古紙配合率100%の再生紙を使用しています